

法然

2012 年本試

問 4 阿弥陀仏の誓願(本願)についての説明として最も適当なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 16 |
|----|

- ① 『無量寿経』に説かれた四十八の誓願からなり, 阿弥陀仏を信じてひたむきに名号を称える者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。
- ② 『無量寿経』に説かれた四十八の誓願からなり, 阿弥陀仏を信じてひたむきに唱題にはげむ者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。
- ③ 『法華経』に説かれた四十八の誓願からなり, 阿弥陀仏を信じてひたむきに真言を称える者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。
- ④ 『法華経』に説かれた四十八の誓願からなり, 阿弥陀仏を信じてひたむきに坐禅にはげむ者は一人残らず浄土へ往生させるという内容を中心とする。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第3問 | 問4 | 16 | ① | 3 |

2012 年追試

問 4 法然の著作として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

16

① 『日本往生極楽記』

② 『教行信証』

③ 『三教指帰』

④ 『選択本願念仏集』

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 4 | 16 | ④ | 2 |

2010 年本試

問 3 法然が天台宗など旧仏教から迫害を受けた理由として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 16 |
|----|

- ① 浄土に往生する手立てとして，他の様々な修行法によらずもっぱら念仏を称^{とな}えることを説いたため。
- ② 旧仏教を改革しつつ，悟りを求める心を軽視する立場を批判して，民衆教化に努めたため。
- ③ 釈迦の没後，次第に人心が乱れ，仏教が衰え，世がすさむとする思想を社会に広めたため。
- ④ すべての生ある存在を救おうと願い，その願いが成就しない間は決して成仏しないと誓ったため。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 3 | 16 | ① | 3 |

2006 年本試

問 1 文章中の 13 に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

中世の仏教者法然は、「知恵第一」と称されるほど学問や修行に励んでいたが、目指す悟りに到達できず苦しんだ。その末に 13 が説く浄土の教えを通じて、すべての衆生を救うという阿弥陀仏と出会ったのである。法然において阿弥陀仏への信仰は、自らの力では悟りに到達できない人間の根源的な無力さと向き合うことなしには得られないものであった。

- ① 契 沖 ② 鑑 真 ③ 善 導 ④ 蓮 如

問 2 法然の言葉として伝えられる次の文章を読み、その趣旨に合致する記述として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

弥陀如来の本願の名号は、木こり、草刈り、菜摘み、水汲むたぐひのごときものの、内外ともにかけて*一文不通なるが、^い称^ふれば必ず^う生ると信じて、真実に願ひて、常に念仏申すを最上の機**とす。もし智恵をもちて生死を離るべくは、源空***いかでかかの聖道門を捨てて、この浄土門におもむくべきや。

*内外ともにかけて：仏教の典籍もそれ以外の典籍もともに。

**機：仏の教えに応ずる能力。ここでは「救いの対象となる人」という意味。

***源空：法然の別名。

(『法然上人絵伝』)

- ① 阿弥陀仏の救いに最もふさわしいのは、文字も読めないような民衆であると述べ、経典を読むことなど一切必要としない念仏の功德を強調している。
- ② 阿弥陀仏の救いに最もふさわしいのは、労働に励む民衆であると述べ、貴族が特権的に支配する社会を念仏の功德により改革しようとしている。
- ③ 阿弥陀仏の救いに最もふさわしいのは、智恵も徳もない民衆であると述べ、

一切の学問や修行を捨てて民衆と同化すべきだと訴えている。

- ④ 阿弥陀仏の救いに最もふさわしいのは，日々の生活の中で悪行を犯さざるをえない民衆であると述べ，自らも悪行を実践していると告白している。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第3問 | 問1 | 13 | ③ | 2 |
| 第3問 | 問2 | 15 | ① | 3 |

2003 年本試

問 6 修行をめぐる法然の考えの記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 24 |
|----|

- ① 草木や国土など心をもたないものも仏となる素質を備えており、その生成変化の姿がそのまま、修行であり成仏である。
- ② 仏の悟りは既に各人に様々な仕方で備わっているが、それを働かせ、体得するためには修行が不可欠である。
- ③ 末法の世に生まれて素質の劣る者は、他のすべての教えや修行を差し置いて、ただ他力易行門た り き い ぎょうもんを選び取るべきである。
- ④ 自己の心の内には元来、地獄から仏に至るあらゆる世界が含まれており、心を観察することで悟りを得ることができる。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 6 | 24 | ③ | 3 |

2001 年本試

問 1 文中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選べ。

阿弥陀仏の本願がまことであるならば、釈尊がお説きになった教えも嘘^{うそ}いつわりであるはずはありません。釈尊の教説がまことであるならば、善導が解釈なされたことが嘘いつわりであるはずはありません。善導の解釈がまことならば、 先生が語られたことが嘘いつわりであるはずはありません。 先生の言葉がまことならば、わたしが申し上げるところもまたいつわりではありえないでしょう。

つまるところ、わたしの信心は以上のようなものです。この上は念仏を信じようとも、あるいは捨てようとも、あなた方一人一人がお決めになることなのです。

——このように、 先生はおっしゃいました。 『歎異抄』

- ① 法 然 ② 蓮 如 ③ 親 鸞 ④ 唯 円 ⑤ 源 信

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 1 | 20 | ① | 2 |
| 第 3 問 | 問 1 | 21 | ③ | 2 |